

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化 武道推進モデル校 研究報告

剣道・空手道	周南市立岐陽学校（ 山口県 ） 電話番号 （0834）22-8840 メールアドレス kiyochu@shunan.ed.jp
---------------	---

●実践研究のねらい

- 剣道・空手道の2種目を実践することで、日本固有の伝統と文化により一層触れるとともに、武道の特性や成り立ち、基本動作などの武道特有の知識・理解を深める。
- 地域スポーツ指導者の専門的な指導により、安全で充実した授業の展開と教員の指導力の向上に資する。また、武道特有の技能の習得や、礼法及び伝統的な行動の仕方を守ろうとする態度を養う。
- 武道が重んじる「相手を尊重する」「自己を律する」という精神を学び、今後の生活に役立てていこうとする意識と実践力を高める。

●多様な武道の指導モデル 第1学年（ 6学級 192名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	
種目	オリエンテーション (剣道・空手道)	空手道		剣道					
		導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）							
		準備運動							
		礼法の学習		歴史・特性の学習		基本動作の学習		判定試合	
		基本動作の学習		礼法の学習		基本打突の学習			
				基本動作の学習		リズム剣道			
整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）									

●指導の工夫

- 1 効果的に指導するための工夫
 - 大規模校での実践ということで、日課編成上、複数クラス同時の授業展開となった。生徒に限られた時間内で、武道に対する興味・関心を高められるように、地域スポーツ指導者には実演を中心に協力いただくことで、生徒の技能習得に向けた意識付けを図ることができた。
 - 適宜、掲示用資料を使用し、地域スポーツ指導者の実演と合わせて、生徒がより習得しやすい状況をつくりだすことができた。
- 2 生徒の安全を確保するための工夫
 - 剣道、空手道ともに裸足での実践となることから、事前に体育館フロアの安全確認を行った。また、武道を初めて実践する生徒が多数のため、準備運動を入念に行うなど、ケガの防止に努めた。併せて、感染症対策として事前事後の手洗い、手指消毒等を徹底した。

●授業の様子



【 剣道：判定試合の様子 】

基本的な竹刀の持ち方・振り方（面・小手・胴）に時間をかけて練習した。授業のまとめとして判定試合を行い、剣道の技の特性を味わえるようにした。

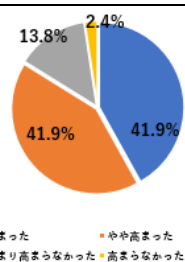


【 空手道：突きの練習 】

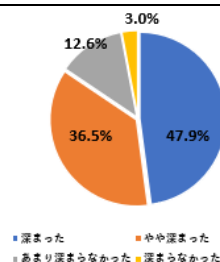
立ち方・拳の握り方・蹴り方を練習した。短い時間ではあったが、地域スポーツ指導者による実演を交えながら基本形に挑戦し、空手道の技の特性を味わえるようにした。

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

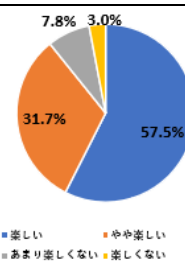
1. 多様な武道（※2種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



2. 多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



3. 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。



生徒は、地域スポーツ指導者から専門的な指導を受ける過程の中で、本格的な知識や技能を身に付けるとともに、武道全般が大切にする「礼」の精神などについても学ぶことができた。多くの生徒が「礼」の精神に共感したこともあり、武道に対する肯定的な意見が多かったと考察している。

●成果

- 上のグラフからも分かるように、授業後のアンケートでは、どの項目においても肯定的に捉えている生徒が8割強に達していることから、本事業の成果を感じている。
- 空手道では、生徒は、構え・突き・蹴りといった基本的な技能だけでなく、普段の姿勢や意識の大切さや基本の「形」にも意欲的に取り組むことができた。
- 剣道では、竹刀の振り方、打ち方など基本的な技能の習得を図った。また、リズム剣道や判定試合にも挑戦し、より実践に近い活動を行うことができた。

●課題

日本固有の伝統と文化に、より一層親しむことは、生徒の生涯にわたる健康の保持増進に直接的につながることを踏まえれば、今年度の素晴らしい成果を、来年度に引き継いでいきたい。その際、生徒数が多いため、指導時間、地域スポーツ指導者数等について十分に検討する必要があると感じている。

